

心身健全!

CAMNETでお楽しみの皆さん、いかがお過ごしですか? 「心身健全!」パーソナリティの川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。

さて2015年に入った3~4月号のマガジン版「心身健全!」です。皆様、心も身体も健全に、前を向いて歩いていきましょう。

このコラムでは、その季節に合わせた風景を紹介しながら、大槻の学会活動やその他日々の雑感などを紹介しております。



この季節ですので、菜の花ですね! 「朧月夜」でも歌われていますが、

♪ 菜の花畠に、入日薄れ、見わたす山の端、霞ふかし。春風そよぶく、空を見れば、夕月かかりて、にほひ淡し♪ です。

今の子供たちは、こういった唱歌的な楽曲は習わないのかなあ…。この歌詞は、どうも春の夕暮れを詠っている様ですが、でも春先はいろいろな花々が咲き誇るようになりますから、気持ちも沸き立つ印象ですよ。

さて、大槻は大学の教員ですので、春といえば新学期ですね。実は今年度から川崎医科大学(岡山県倉敷市です。神奈川県ではありません。実は創設者が川崎祐宣先生とおっしゃって、その方の苗字が大学名となっています)では、授業時間がこれまでの90分から60分に短縮されます。その分、これまでは午前中2時限、午後2時限(実習などでは午後3時限費やすことも)だったのですが、この春から午前中3コマ、午後も3コマで実習や非常勤講師の先生のご都合によっては午後の4時限目(全体の7時限目)も追加される形式になります。そして、現在、大学教育の中ではシラバス(日本では講義・授業の大まかな学習計画のこと。米国では、各回講義内容から教員連絡方法まで、個別講義の受講に必要必要な情報をすべて盛り込んだメモのこと。By Wikipedia…)実際には現在の日本でも相当に詳細を記載す

ることになっています)を事前に準備しないとならないのですが、そこでも、これまでに比べて同じ授業をするにしても、コマ数が1.5倍になってしまいますので、シラバスの授業内容を示す項目も再構築しないとなりません。例えば、大槻は環境社会医学ユニットという科目の中で、食品保健の授業をしていますが、これまで90分を2コマで「食中毒」と「食の安全」みたいな内容だったのですが、もちろん、教える内容は全体で180分なので問題ないのですが、シラバスとしては全体を三等分しないといけません。かつ、「OXO-1」、OXO-2]というような記載の仕方はよろしくないということになるので、結局、「細菌性・ウイルス性食中毒」「その他の食中毒と食品安全衛生法」、そして「食の安全」みたいな感じになってしまうのですよね。



また、90分授業だと、最初と最後に10分ずつくらい、雑談といっはおかしいかも知れませんが、科目全体の概念的な話とか、現在の自学の教育方針とその実際についてとか、直接その日の講義内容とは異なっても心構え的なところも話せていたのですが、60分になると、あまり余談を入れ切れない印象です。特に川崎医科大学は医学部医学科の単科の大学ですので、全ての学生は医師国家試験を目指す授業をしています。そうすると、否応なく全ての授業は国家試験対策的になってしまうのですよね、辛いところですが。

そして、実際には国家試験の範囲の今日のコマの内容(例えば食中毒など)を教科書をなぞるだけでも時間が精一杯なのです。

ただ、そうはいつでも決まってしまう授業改革だし、なんていうか最近の(いや、昔の僕らもそうだったのかも知れませんが)学生さんは90分も集中して授業を聞き切れない、あるいは教員も(僕もですが)90分も集中して講義をし切れないってことが背景にあるのかも知れません。

確かに学会でも特別講演などといっても1時間ものが最長くらいですものね。なので、まあ、それはそれで教えることとしては同じって思って、でも、少しだけこれまで同様っていうのではなく、各コマの再構築をしていかないといけません。



さて、今回は菜の花の写真ばかりになりましたが、春も盛りでしょう! それでも元気に過ごして行きましょう!

いつも通りでオリジナル楽曲の歌詞の紹介です。

白い扉のむこうで

呼び止めてみました

あれは 並木通りの

白い扉の カフェテラスが

見える 曲がり角付近

振り向いたあなたの

白い ベレー帽子が

緑の木々に よく似合って

風も 微笑みかけます

コーヒーでも いかがですか

少し話してみたいのです。

春は 街じゅうに 溢れて

恋は 駆け足で

近付いているから

ほほえんだあなたを

包む 光の渦は

ボクの両手に 抱えきれずに

風と 戯れています。

コーヒーでも いかがですか

少し話してみたいのです。

春は 街じゅうに 溢れて

恋は 駆け足で

近付いているから

頷いたあなたと

そっと 肩を並べて

白い扉を 開けた向こうで

恋が 笑っていました

作詞・作曲:大槻剛巳(1976/02/22)



■プロフィール/大槻剛巳(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授

0歳:京都府福知山市にて生誕

14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位

14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用

15歳:倉敷市に転居

15&18歳:NHKあなたのメロディー出演

18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場

20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり

24歳:川崎医科大学卒業

以降:川崎医科大学血液内科~衛生学にて診療・研究・教育に従事

1992-1996年:米国留学(医学研究)

1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載

2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当

現在に至る

♪オリジナルCD
プレゼントします!
詳しくは
プレゼントコーナーで



OTSUKI CD
Beyond the accident,
having finished the
annual meeting.....